

第6回

海岸公園（岡田地区）にて育樹会を開催しました！



▶「植える」から「育てる」へ！

6月24日（日）、海岸公園岡田地区（H28年3月植樹）エリアで第6回育樹会を開催しました。夏の日差しと浜風の中、ご参加いただいた65名の方とともに苗木まわりの除草作業や苗木の本数計測・身長測定を行いました。

昨年の育樹会から苗木の本数が30本ほど減っていましたが、身長は大きいもので昨年から50cmほど伸び、1.6mに成長している木もありました。

第2部の身近な植物の魅力発見ゲームでは、第1部で除草した草を使い、班対抗で名前を当てて魅力を探すゲームを行いました。参加された皆様からは「草の種類の多さに驚いた」「植物の魅力を子どもたちが話すとき、大人とは違う視点で見ているんだとあらためて感じ、おもしろかった」などの感想をいただきました。

▶参加者の声（アンケートより）

- ・地道な努力の継続にあることを学びました。
- ・通常みる木がどれだけ長い年月が経っているのか知るきっかけになりました。
- ・前回植樹会に参加しました。ずいぶん大きくなったような気がしました。草はだいのびてしまっ
てびっくりしました。
- ・草をとるのが大変でした。楽しかったです。 ・トチノキの説明が面白かったです。
- ・植樹の時と公園の雰囲気が大きく変わっているなあと感じました。木たちがしっかり育っていてよかったです。



第7回植樹会を開催しました！



6月2日、平成30年度ふるさとの杜再生プロジェクト植樹会を海岸防災林（荒浜字南官林地区）で、（一社）森の防潮堤協会との合同で開催しました。

夏に向かうような晴天と海風の中、500名の方にご参加いただき盛大な会となりました。海側に近い仙台市エリアには抵抗性クロマツを、内陸側の（一社）森の防潮堤協会エリアには広葉樹を混植し、あわせて約7000本の樹木を植樹しました。

エリアごとに仙台市緑の活動団体や、仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議の会員の皆様に「植樹リーダー」をお願いし、震災以前の松林の写真や植えた苗木が森になるまでの成長イメージの紹介と、植え方の指導をしていただきました。参加された皆様からは「30年後植えた苗木が大きくなるのが楽しみ」「これからもできる限り参加して苗木の成長を見守りたい」などの感想をいただきました。

た苗木が森になるまでの成長イメージの紹介と、植え方の指導をしていただきました。参加された皆様からは「30年後植えた苗木が大きくなるのが楽しみ」「これからもできる限り参加して苗木の成長を見守りたい」などの感想をいただきました。

編集・発行：ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

▶特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

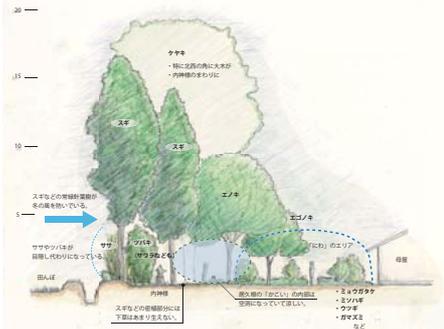
▶仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

特集 居久根（いぐね）の保全・再生について

本プロジェクトでは、「仙台東部地域のみどり」の再生を目指しており、海岸林や海岸公園のみどりの他に、暮らしに沿った固有のみどりとして屋敷林「居久根（いぐね）」の保全・再生にも各会員が取り組んでいます。

往時の集落生活に不可欠だった居久根。東日本大震災以降、今後の仙台沿岸部の集落の暮らしに沿った新たな居久根の形も必要です。

無理なく育てられるような、暮らしの中で必要な緑の再生のお手伝いができればと考えています。植樹や育樹の機会等に是非、ご参加下さい。



◀一般的な「居久根」の断面

居久根は、防風・防砂の役割の他に、枯れ葉や落枝が燃料として利用されるなど、暮らしに必要な不可欠なものでした。断面で見ると、幅10~15mくらいの緑の帯になっています。

低木も含めて多彩な樹種が植えられ、それぞれの役目を果たしています。

● 新浜地区の取り組み ~みんなの広場~



新浜地区では、震災後の仮設集会所跡地を「みんなの広場」として、植樹活動や清掃活動を行っています。

視察や研修で訪れる団体が除草作業を行うなど、地域外の方々との交流の場にもなっています。



ここに、熊本県の自治体からパーゴラとベンチの寄贈があり、まさに「広場」となりました。(写真下)

この他、地区内の各住宅での植樹活動等も行われています。

● 南蒲生地区の取り組み ~みんなの畑~



南蒲生地区では、2017年度より「みんなの畑」プロジェクトがスタートしました。

町内会集会所の駐車場の残地が、土地所有者の厚意で、みんなで育てる畑に。

子供会や老人クラブなど町内の様々なコミュニティが集える農園を目指します。(写真上：収穫の様子)

同畑の敷地には、目隠しや防風のための植樹も行っています。(写真下)



▲暮らしに沿った居久根の再生のイメージ (仙台平野「みんなの居久根」プロジェクトのパンフレットより一部引用)

高木が生い茂るこれまでの「居久根」を個人で所有・管理を継続するのは大変…。集落の暮らしや住まいも変わって、居久根に求められる役割も変化しています。「自然の豊かさを暮らしに取り入れてきた先人の知恵」が「居久根」というカタチになったと捉え、これからの暮らしに沿った新しい居久根をみんなの手で作り、次の世代へつないでいく事が必要ではないかと考えます。

● イグネスクール



都市デザインワークスでは、居久根づくりや身近なみどりの再生のための小さな学校として、「イグネスクール」を毎年秋に開催しています。

植え育てるための知識やコツ、困りごとなど

を、造園のプロに現場で解説いただきます。

土づくりの基礎知識から、希望に適した樹種選び、剪定の仕方まで、授業内容は様々です。

第7回育樹会を開催しました！



7月22日(日)、海岸公園荒浜地区(H29年3月植樹)エリアで第7回育樹会を開催しました。真夏の強い日差しの中、49名の方とともに苗木まわりの除草や苗木の本数計測・身長測定を行いました。

苗木の本数は今年の育樹会とほぼ同数で、成長の早いヤマハンノキは身長が3mになっていました。参加の皆様からは「まだまだ小さい苗木が多かったが、このまま成長して昔のような林になってほしい」「人手があると早く作業が出来て良い汗がかけた」などのお声をいただきました。樹木の特性レクチャーでは緑を守り育てる宮城県連絡会議の中沢さんから、植樹した6種類の苗木について解説していただきました。今回のエリアではヤマハンノキの成長が最も早く、次いでエノキ・ヤマザクラ・ネムノキでした。まだ小さい苗木も多いため、今後も育樹を続けてまいります。

第2部は(公財)仙台市公園緑地協会のレンジャーさんに講師をお願いし、昆虫採集・バードウォッチング・クラフトづくりに分かれて、わくわく自然体験を行いました。昆虫採集チームは植樹した木のまわりで虫取り網を使って昆虫を採集し、バードウォッチングチームは避難の丘の頂上から望遠鏡を使い、ミサゴの巣などを観察しました。また、クラフトチームは深沼海岸で拾った流木や貝殻を使い、フォトフレームを作成しました。参加された皆様からは「普段捕まえている虫も、種類や飼い方を詳しく教えてもらえて良かった」「暑さを忘れるくらい楽しかった」「思っていた以上に色々な種類の鳥がいてびっくりした」「きれいな貝殻を使ったクラフトづくりに夢中になった」などの感想をいただきました。

緊急育樹会を開催しました！



8月20日(月)、荒浜字南官林(H30年3月植樹)にて、緊急育樹会を行いました。苗木まわりの雑草の繁茂が著しく、特に、ツル性の植物が苗木に絡みついていて見られたため、今回は連絡会議の会員を中心に緊急的に開催しました。

苗木に絡み付いたツル性の雑草を一本一本、ハサミを使い手作業で切る作業は予想以上に時間がかかりました。

真夏の日差しの中、23名での作業でしたが、予定していた1,300本分の手入りができました。会員の参加に加え、今回は仙台商工会議所青年部の方々や緑を守り育てる宮城県連絡会議、仙台市森林アドバイザーの会の方々もご参加いただきました。

同箇所の苗木は、概ね順調に成長しておりますが、中には枯損も見られます。枯損分の補植も含めて、このような「緊急的な」育樹の機会は今後も増えることが予想されます。これまで植樹に企業や団体等でご参加いただきました方は、今後も引き続き育樹の機会づくりと、育樹会等へのご参加をいただきますようお願いいたします。

この秋の育樹会の開催も決まっております。ご家族連れでもお楽しみいただけるようなプログラムも併催しますので、ご参加をお待ちしております！(下段記事参照ください)

やっぱり
あづかったー…
休み休みの作業でした



次回
開催案内

今回の育樹会は**9月23日・24日**に海岸公園(岡田地区)において実施いたしますので、皆様是非ご参加ください。

※詳細はチラシ配布中のチラシを！

開催
されました

海岸公園冒険広場がオープン！植樹も行われました！



7月8日(日)、7年4か月ぶりに海岸公園冒険広場が開園しました。自然に囲まれた中で、子どもたちがのびのびと遊べる場所が再びできたことで、復興工事の続く沿岸部にも、子どもたちの元気な声が響くようになりました。また、7月19日(木)には、七郷小学校の6年生たちが海岸公園冒険広場に「防災安全科」の授業の一環として、植樹を行いました。

2年前に貞山運河周辺から実生苗を採取し、校内で児童が大切に育ててきた苗木が、リニューアルオープンした冒険広場に戻ってきました。

津波被害のあとにつながった命が、再びここで大きく育っていくことを願っています。



＼今年も／

▲2年前に実生を採取した時の様子

開催
されました

埼玉県立鶴ヶ島清風高校が育樹活動に参加しました！



8月28日(火)海岸公園(岡田地区)にて、埼玉県立鶴ヶ島清風高校の有志20名によるボランティア活動をしていただきました。清風高校は平成27年から毎年、研修プログラムで宮城野区の南蒲生町内会を訪れており、「東日本大震災ボランティア」も行っております。

今回は昨年度に続き、海岸公園岡田地区(H29年6月植樹)エリアで除草作業を行いました。2年連続で参加した生徒さんは、昨年からの苗木の成長の様子に驚いていました。夜は地元の南蒲生町内会の震災の語り部や被災体験の朗読を聴きながら、地元の方と交流されました。

翌日は海岸公園センターハウスで流木や貝殻を使ったアートクラフトに挑戦。その後、海岸公園冒険広場の視察の後、六郷東部コミュニティセンターにて、東六郷・東部かあちゃん'ずのおもてなしにより、昼食・交流会が開かれました。

(当初、冒険広場でのバーベキューを予定していましたが、雨の影響で変更しました。)

盛りだくさんのプログラムの中で、仙台沿岸部の地元住民の方とのコミュニケーションや交流も充分にはかることができましたようです。

こうした定例・恒例の訪問・活動は本プロジェクトにとっては大変心強いものです。本プロジェクトとしても、引き続き交流できればと思っております。



▼震災朗読・語り部の様子



視察研修の受け入れ、可能です！

本プロジェクトでは、このような視察や研修の受け入れが可能です。

目的や時間、ご都合に合わせたプログラムをご提案できますのでお気軽にご相談ください。お問い合わせは下記の仙台市百年の杜推進課まで。



■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp



第8回植樹会を海岸公園（井土地区）にて開催しました！



11月25日、本プロジェクトの第8回目となる植樹会を海岸公園（井土地区）で開催いたしました。

時期的に、いつもは山や海からの強い風が吹く公園ですが、当日は温かな日差しの穏やかな天候に恵まれ、計400名の方にご参加いただき、約2300本の樹木を植樹いたしました。

当日は仙台市認定緑の活動団体の皆様や仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議の会員が「植樹リーダー」をつとめ、ご参加の皆様公園の被災の様子、津波に強いまちづくりのための公園づくりについて、かさ上げ道路の工事のことなど、公園や仙台東部地域をとりまく状況をご紹介しつつ、しっかりと根が張るよう植え方の指導も行いました。

参加された方からは「植えた苗木が大きく育ってほしい」「公園に遊びに来た時に植樹した苗木の成長を観察したい」などの感想をいただきました。

植樹会終了後は、山形県の新庄発「防風林再生プロジェクト」提供による山形芋煮を、地元の「東六郷・東部かあちゃんず」に調理のご協力をいただき、参加者に振る舞いを行い、震災直後から六郷地区の避難所へ支援をしていた団体の想いを伝え、交流を図る機会となりました。

育樹会を開催しました！



この秋も、10月から11月にかけて育樹会を開催しました。

11月に行った育樹会は、3月に植樹した南官林地区で行いました。雑草を抜きそれを敷き詰めて、苗木たちが元気に冬越しできるよう準備しました。また、残念ながら枯れてしまったところには、新たな苗木に植え替えました。

育樹会では、毎回苗木の生長を計測しています。今回の地区は植樹から約7か月経過し、植樹当時50cmの苗木は、コナラが83cm、クリやヤマザクラは1mを超していました。

昨年の猛暑を乗り越え順調に生長しています。

今回育樹会場までは、サイクリングロードをサイクリングし、途中貞山運河で羽を休めるカモなどのバードウォッチングも楽しみました。そして育樹後は、地元の農家から野菜の提供をいただき、仙台風芋煮を召し上がっていただきました。芋煮の後は、どんぐりや松ぼっくりでリースやオブジェなどを作りました。「今日作業した木々の実も、いつか使えるようになるのが楽しみです」との感想をいただきました。今年も6月から新たに井土地区を加え、育樹会を実施する予定です。自然の魅力に出会えるプログラムを準備して、たくさんの方々の参加をお待ちしております。



視察受入 **韓国金海市からの視察がありました！**



9月6日海岸公園（井土地区）において、韓国金海市役所及び金海市都市再生センター2名の方の視察受け入れを行いました。今回の視察は、連絡会メンバーである都市デザインワークスとセンターの交流から企画されました。

冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワークの根本氏から、震災当時のお話を伺った後、避難の丘に登り復興状況を見学しました。まちのようすを見渡しながら、津波の高さや浸水面積の広さなど色々と質問をしていただき、被害の大きさや復興のスピードに驚かされていました。

その後、本プロジェクトの主旨や活動内容などを説明し、東日本大震災・津波からの復活を願って、避難の丘のまわりにクヌギの苗木6本を植樹しました。お二人はその後、旧荒浜小学校と荒浜を訪問されたとのことでした。



視察研修の受け入れ、可能です！

本プロジェクトでは、このような視察や研修の受け入れが可能です。目的や時間、ご都合に合わせたプログラムをご提案できますのでお気軽にご相談ください。お問い合わせは下記の仙台市百年の杜推進課まで。

視察レポート “みどりづくり”の現場の視察に行ってきました！

わたりグリーンベルトプロジェクト(亶理町)



10月10日(火)、本プロジェクトの会員有志で、わたりグリーンベルトプロジェクトの活動の視察に出かけました。

亶理町で震災後から民間主体で、海岸林の再生を主とした活動を続ける同団体は、2015年にNPO法人化。事務局メンバーで工夫を凝らしながら息ながく活動を続けています。

海岸林の植樹は、これまでに約21,000本、8haを植え終え、トータル約44,000本まで更に活動は続きます。毎年4月、5月、6月、9月、10月に植樹会を行っています。

最近では活動の幅もひろがり、「熱気球フェスティバル」をクラウドファンディングにより開催したり、落花生等の栽培・販売、ツーリズム事業を旅行会社と協働開催したりと、自立し、持続可能な活動を目指して様々取り組まれていました。

▼同団体の基本計画より



これまでの活動を振り返って

2015年度から本格的に始動した本プロジェクト。
これまでの4年間で、こんなに沢山のご参加をいただき、
苗木を植えることができました！

海岸防災林、海岸公園の植樹本数：22,800本

植樹会参加者：(のべ) 2,340名

育樹会参加者：(のべ) 440名

この他に、復興公営住宅や集会所などの花壇づくりや、居久根の植樹や育樹などの活動もあります。

今後の植樹(計画本数)：17,195本

概ね2020年度までに植樹は終了する予定です。
現在の植樹活動と並行して行っている、育樹活動が、更に
必要になってきます。まだまだ皆様のご参加、ご協力が必要
ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



2016年1月
海岸林視察



2016年10月
どんぐりの森づくり
プロジェクト



2017年3月
市民植樹(植樹会)



2017年6月
育樹作業



2018年3月 植樹会



2018年7月
育樹会



2018年11月
連絡会議

イグネススクール 2018 を開催しました！



本年度も宮城野区南蒲生にてイグネススクールを開講しました。今回も南蒲生町内会の取り組みに特定非営利活動法人都市デザインワークスが協力する形で行われました。

本年も昨年同様に南蒲生の「みんなの畑」の感謝祭(写真右下)に併せての開講となりました。

今回は植樹はせずに、これまでの植樹箇所の点検と、みどりの困りごと相談と手入れを行いました。

専門家(樹木医)を講師に迎え、散歩のようにこれまで植樹した各敷地を巡回。その場でみどりの生育状況の確認や、育てかたのコツなどを指導いただきました。

本プロジェクトとしても、引続き、こうしたみどりづくり・環境づくりのサポートができればと考えております。

活動報告②

貞山運河フォーラムが開催されました



2月17日(日)、せんだいメディアテークを会場に、貞山運河フォーラムが開催されました。今回のフォーラムでは、「ひろばとしての貞山運河」というテーマで、貞山運河を軸に、貞山運河界隈で活動してきたパネラーの方々から、自然の保全や市民利用、まちづくりなどについて、具体的な提言がありました。また、会場では、名取市関上の木造船「さくぼ」と、芸術家の川俣正氏のアイデアで昨年完成した現代版馬舟「みんなの舟」が展示され、注目を集めました。

平成29年から行なってきた「貞山運河を利活用した復興まちづくり」のまとめの報告の場にもなりました。

お立ち寄り下さい！

海岸公園センターハウス(荒浜地区)「ふるさとの杜再生プロジェクト」の紹介コーナーができました！



海岸公園センターハウスに「ふるさとの杜再生プロジェクト」の紹介コーナーがあるのはご存じですか？プロジェクトの概要を記したパネル、これまでの「ふる杜だより」、植樹した樹木について解説パネル、そして育樹会の写真や植樹した苗木の成長ぶりが分る樹高測定結果のグラフも見る事ができます。また、植樹した樹木の実(松ぼっくりやどんぐりなど)で作ったクラフト作品、クラフト体験コーナーもあります。「ふるさとの杜再生プロジェクト」のこれまでの歩みや今後の展望が見える展示となっています。

お天気のいい日には、オリーブのあるテラスでゆっくりくつろげます。是非お気軽にお立ち寄りください。



海岸公園センターハウス TEL/FAX: 022-288-4021
休館日: 火曜日

「みどりづくり」の現場の視察に行ってきました！

視察レポート

蔵王のブナと水を守る会(白石市)



12月5日(水)、本プロジェクトの会員有志で、「蔵王のブナと水を守る会」の視察に行ってきました。

同団体は、1986年に活動を開始し、32年もの長きにわたり活動を続けています。耕作放棄地の増加やリゾート開発などで環境が大きく変わった時に危機感をもち、蔵王の森を「復元」することを目的に、主に2002年~2007年頃まで植樹活動を行ってきました。

ブナを育てるために、パイロットプランツとして、ヤマハンノキを植え、計画的な森づくりを進めている他、「春を食べる会」や「森の教室」、スノーシューなど、育樹作業と関連づけて森を体感する企画も積極的に行っています。

森には独自の園路(自然観察路)や森づくりの目的や計画を示した案内板も設置されている他、ツリーハウスもありました。また、これらの活動拠点としてログハウスも設置されています。

植樹が終わり、育樹や森を「活用する」取り組みとして、ふるさとの杜再生プロジェクトの今後の参考になる視察となりました。



■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局
●特定非営利活動法人都市デザインワークス TEL:022-264-2405 mail:info@udworks.net
●仙台市百年の杜推進課 TEL:022-214-8389 mail:ken010241@city.sendai.jp